

## 農業高校・農業大学校を経て 農業法人に就職

生まれも育ちも長浜市の北村明子さん。幼い頃から祖父母の田畑をよく手伝う女の子だった。高校は適性と通学の利便性を考えて長浜農業高校へ。3年間、作物栽培の基礎について学んだ後、さらに進んだ滋賀県立農業大学校の養成科（2年コース）では果樹を専攻した。

農業大学校では、専攻のことをかなり深く勉強できる。また、農業機械や農業経営など応用が利くことを習得できるので、これから農業をしたい人にお勧めだという。農家実習もあり、北村さんも実習を通して現場で求められるスキルを身につけた。卒業生の多くは就農したり、農業関連企業に就職したりしている。



入社5年目になる北村さんの仕事は、主に野菜苗の生産管理だ。

「細かいことが気になるタイプなので、種苗店に卸す苗の品質チェックは入念に行きます。種から育つところをみていると、出荷するときは娘を嫁に出す親の気分。クレームになって戻ってこないように願うばかりです。」

玉ねぎなど出荷野菜の選別もしており、「市場は皮つきの小さいサイズ、カット野菜工場や給食センターは皮なしの大きいサイズが喜ばれるので、お客様の好みを考えて作業しています」という。

休日でも早起きして家庭菜園をする北村さん。「一生農業を続けたい」と笑顔で語った。

### #10

長浜市  
柏本農園(株)  
きたむら あきこ  
北村明子さん

[農地面積] 約31ha  
[栽培品目] 米・麦・野菜  
花苗野菜苗など

長浜生まれ、長浜育ち。農業高校・農業大学校でスキルを積んだ、根っからの農業好き。2013年に就職就農。男性従業員、パートの女性たちと主に野菜苗の生産管理をする。



出荷用の玉ねぎを選別する。

じっくり技術を学ぶなら  
農業大学校はおすすめ。



## 暮らしやすい滋賀で就農 技術は現場で上司から学ぶ

大粒のぶどうや梨が並ぶ直売所に、元気よく接客する女性がいる。香川県小豆島出身の佐伯美矩さんだ。竜王町の(株)ファームタケヤマに入社して2年目になる。

前職から転職を考えたとき、幼い頃に祖母の畑を手伝い褒められた記憶が蘇った。実家に田畑や果樹はあったが、起業するほどの技術や力量はないと、就職就農を決めた。

就職先は農業専門の求人サイトで見つけた。「求人数は意外とありました。滋賀は家賃が安く、生活費を抑えられることが決め手のひとつ。あとは美味しいものが好きなので(笑)」と屈託ない。

技術的なことは上司から学ぶ。約1ヘクタールのぶどう園のほか、梨やいちじくの生育管理をする。冬場は露地野菜の収穫も行ふ。



「女子という理由で困ったことはありません。背が低いので剪定のとき困りますが、自分専用の踏み台を買ってもらいました。トイレが遠いのは難点ですが、私の入社をきっかけに、社長が10時と15時に休憩時間を設けてくれました」。佐伯さんが快適に働けるのは、女性社員への社長の配慮もあるようだ。

直売所には頻繁に常連がやってくるし、電話もよく鳴る。ハキハキと応じる佐伯さんは「農業は地域の人と関わりが深い仕事。接客も得意に越したことはないですね」と語る。

「夢は美味しい果物を、思いっきりつまみ食いすることです」と茶目っ気たっぷりな佐伯さんは、間違いなく地域に愛されている。

### #11

竜王町  
(株)ファームタケヤマ  
さえき みのり  
佐伯美矩さん

[農地面積] 45ha+果樹園1.2ha  
[栽培品目] 米・麦・大豆  
野菜・果物

香川県小豆島生まれ。大学卒業後、製図アシスタントとして働いたが、幼い頃に祖母の農作業を手伝い楽しかったことを思い出し、2016年に現在の農業法人に就職就農した。



笑顔で接客!

技術は現場  
で学べる。

収入が安定。

